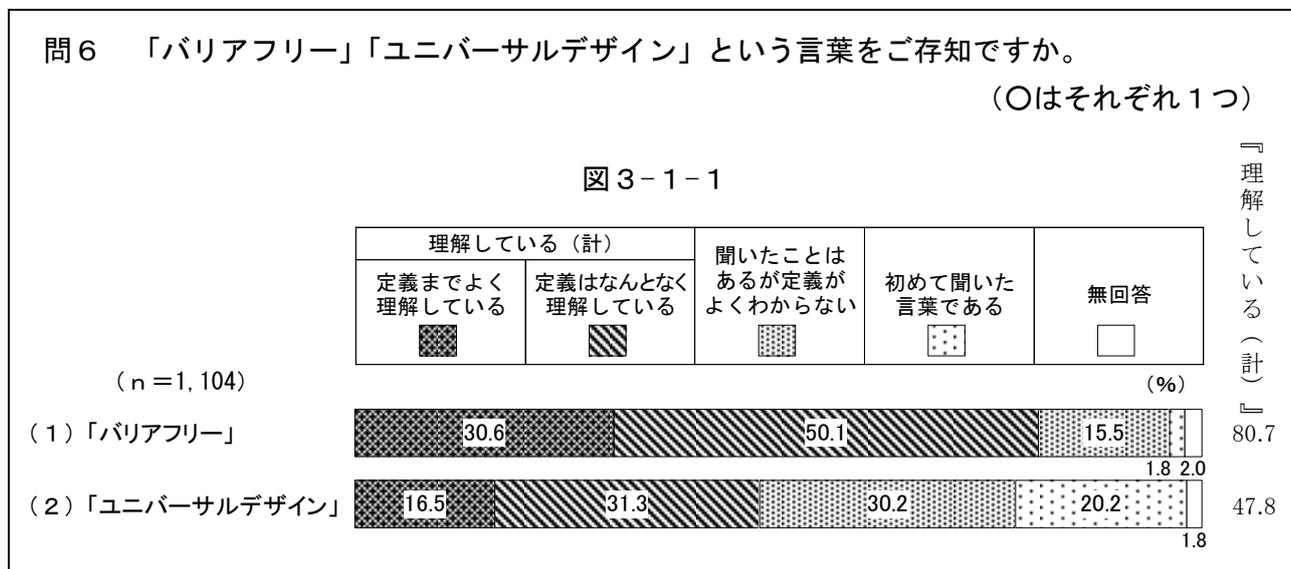


《基本目標 1 生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち》

3. バリアフリー・ユニバーサルデザイン

(1) 「バリアフリー」、「ユニバーサルデザイン」の認知度

◇「定義までよく理解している」と「定義はなんとなく理解している」を合わせた『理解している(計)』は「バリアフリー」が約8割、「ユニバーサルデザイン」が5割近く

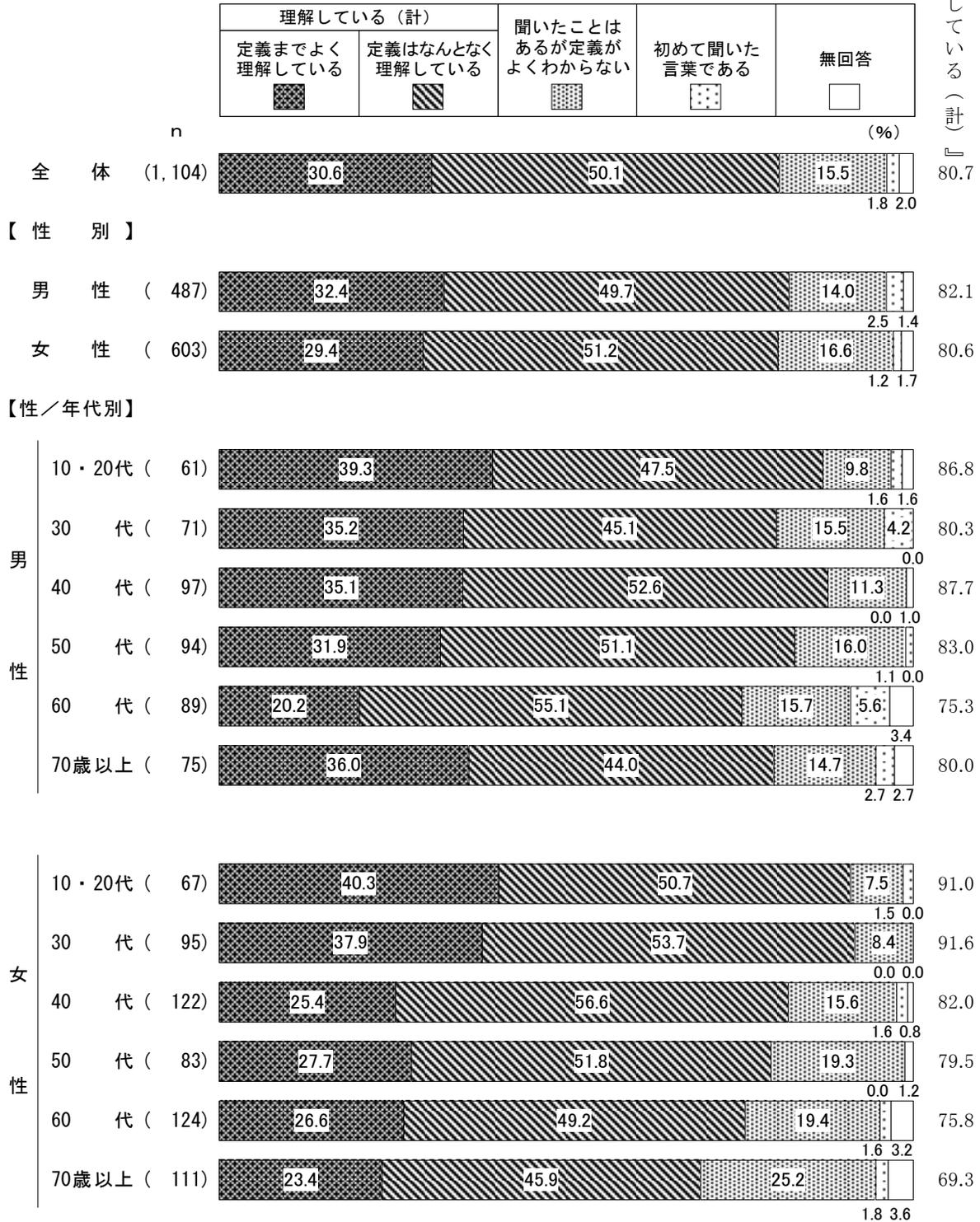


「バリアフリー」という言葉を知っているか聞いたところ、「定義はなんとなく理解している」(50.1%)が5割で最も高く、これに「定義までよく理解している」(30.6%)を合わせた『理解している(計)』(80.7%)は約8割となっている。「聞いたことはあるが定義がよくわからない」(15.5%)は1割半ばとなっている。

「ユニバーサルデザイン」という言葉を知っているか聞いたところ、「定義までよく理解している」(16.5%)と「定義はなんとなく理解している」(31.3%)を合わせた『理解している(計)』(47.8%)は5割近くとなっている。「聞いたことはあるが定義がよくわからない」(30.2%)は3割で、「初めて聞いた言葉である」(20.2%)は2割となっている。(図 3-1-1)

図3-1-2 「バリアフリー」の認知度—性/年代別

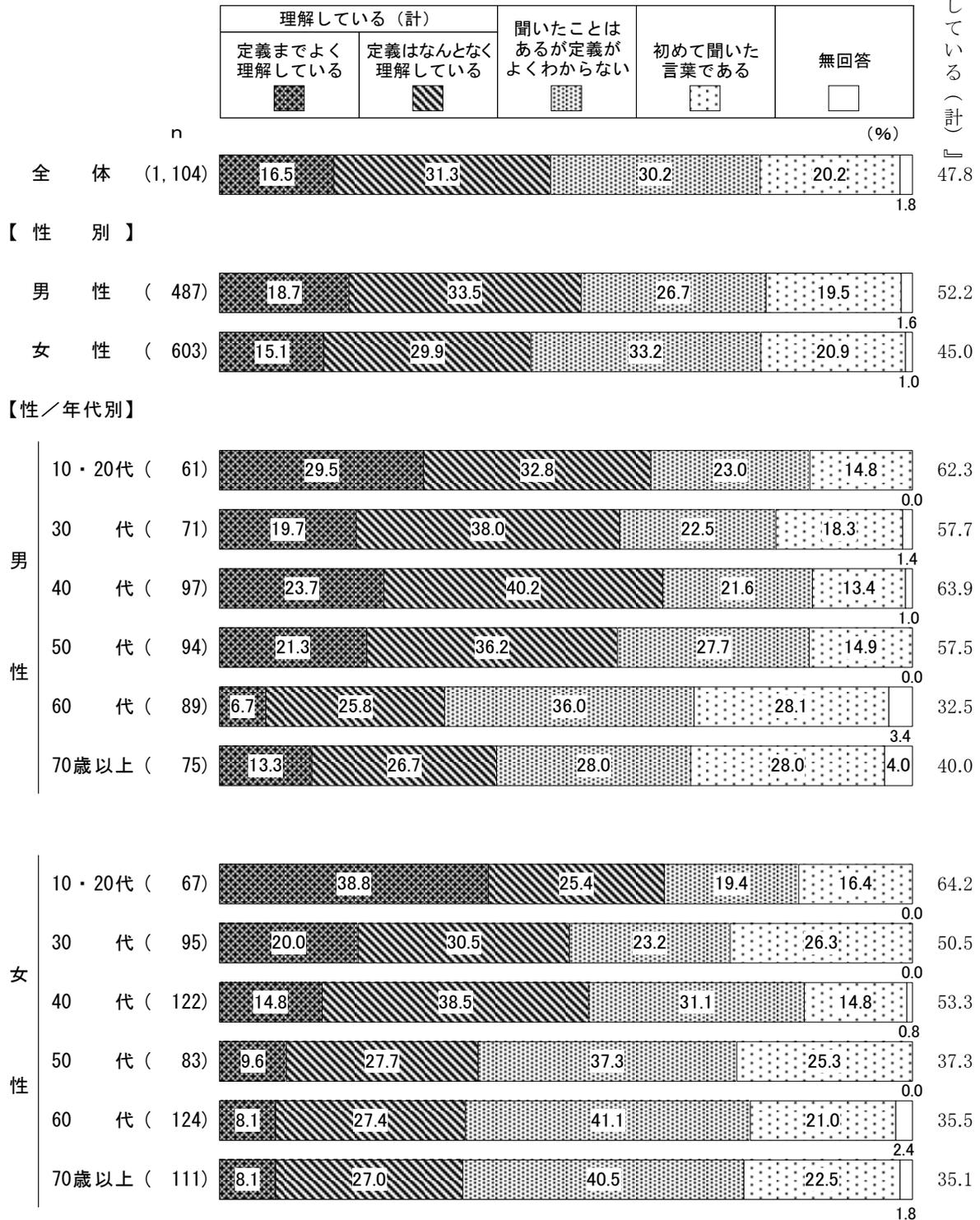
『理解している（計）』



「バリアフリー」の認知度を性別で見ると、「定義までよく理解している」は男性（32.4%）が女性（29.4%）より3.0ポイント高くなっている。

性/年代別で見ると、『理解している（計）』は女性10・20代（91.0%）と女性30代（91.6%）で9割を超えて高くなっている。「聞いたことはあるが定義がよくわからない」は女性70歳以上（25.2%）で2割半ばと高くなっている。（図3-1-2）

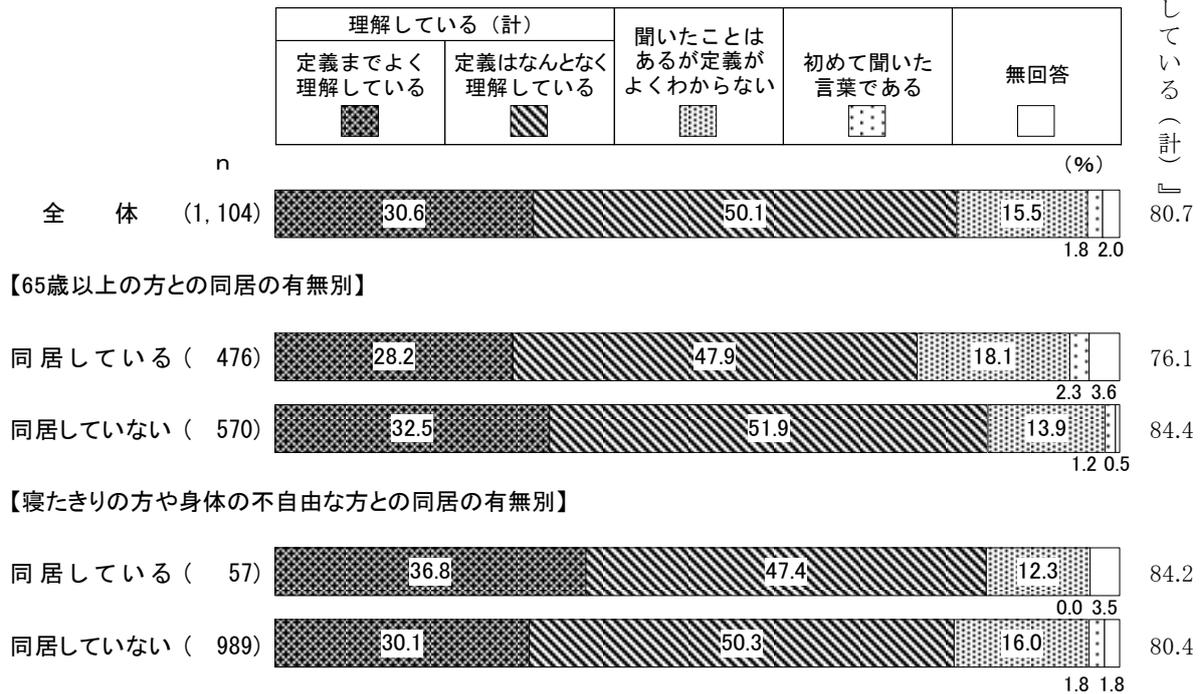
図3-1-3 「ユニバーサルデザイン」の認知度—性／年代別



「ユニバーサルデザイン」の認知度を性別で見ると、『理解している (計)』は男性 (52.2%) が女性 (45.0%) より7.2ポイント高くなっている。

性／年代別で見ると、『理解している (計)』は女性10・20代 (64.2%) で6割半ば、男性10・20代 (62.3%) と男性40代 (63.9%) で6割を超えて高くなっている。「初めて聞いた言葉である」は男性60代 (28.1%) と男性70歳以上 (28.0%) で3割近くと高くなっている。(図3-1-3)

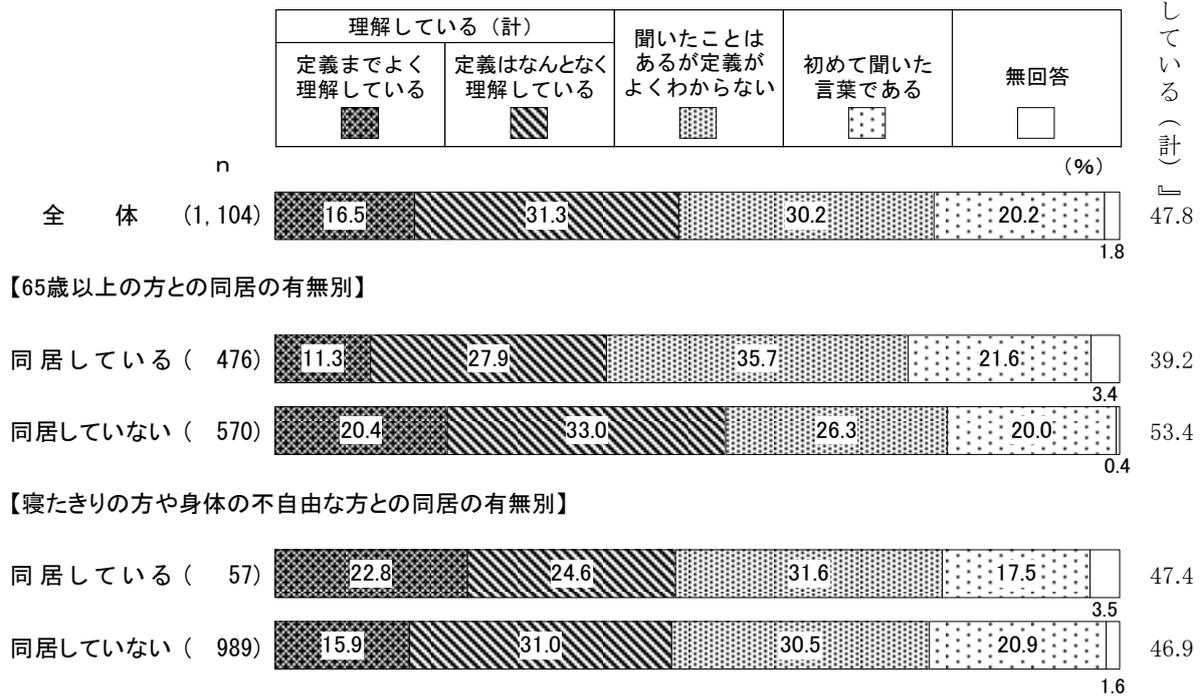
図3-1-4 「バリアフリー」の認知度—65歳以上の方との同居の有無別、  
寝たきりの方や身体の不自由な方との同居の有無別



「バリアフリー」の認知度を65歳以上の方との同居の有無別でみると、『理解している (計)』は同居していない人 (84.4%) が同居している人 (76.1%) より8.3ポイント高くなっている。

寝たきりの方や身体の不自由な方との同居の有無別でみると、『理解している (計)』は同居している人 (84.2%) が同居していない人 (80.4%) より3.8ポイント高くなっている。(図3-1-4)

図3-1-5 「ユニバーサルデザイン」の認知度—65歳以上の方との同居の有無別、  
寝たきりの方や身体の不自由な方との同居の有無別



「ユニバーサルデザイン」の認知度を65歳以上の方との同居の有無別でみると、『理解している (計)』は同居していない人 (53.4%) が同居している人 (39.2%) より14.2ポイント高くなっている。一方、「聞いたことはあるが定義がよくわからない」は同居している人 (35.7%) が同居していない人 (26.3%) より9.4ポイント高くなっている。

寝たきりの方や身体の不自由な方との同居の有無別でみると、「定義までよく理解している」は同居している人 (22.8%) が同居していない人 (15.9%) より6.9ポイント高くなっている。

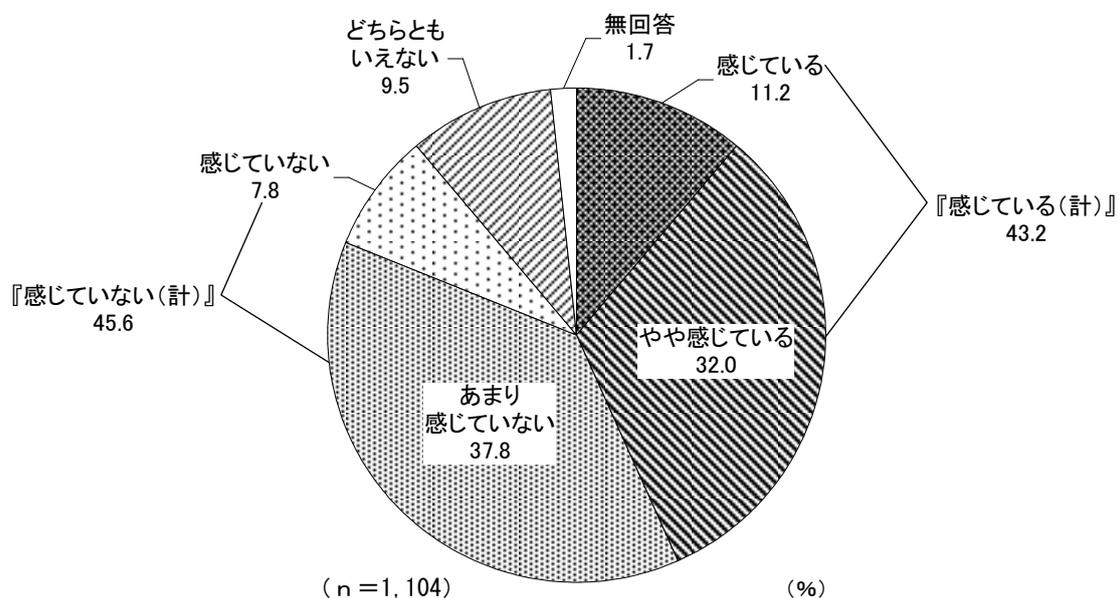
(図3-1-5)

## (2) 駅周辺のバリアフリー化

◇「感じている」と「やや感じている」を合わせた『感じている(計)』は4割を超える

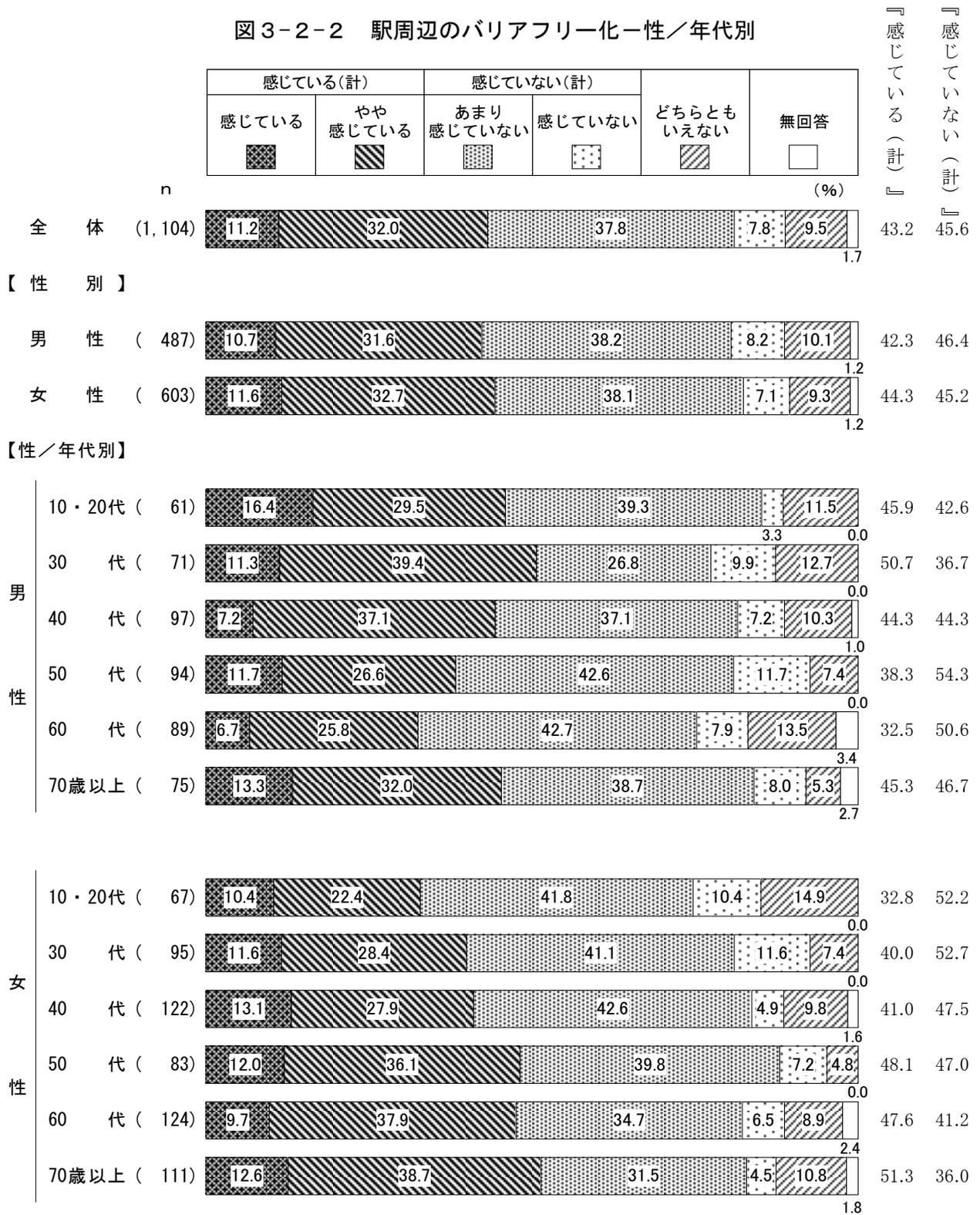
問7 駅周辺のバリアフリー化が進んだと感じていますか。(○は1つだけ)

図3-2-1



駅周辺のバリアフリー化が進んだと感じているか聞いたところ、「感じている」(11.2%)と「やや感じている」(32.0%)を合わせた『感じている(計)』(43.2%)は4割を超えている。一方、「あまり感じていない」(37.8%)と「感じていない」(7.8%)を合わせた『感じていない(計)』(45.6%)は4割半ばとなっている。(図3-2-1)

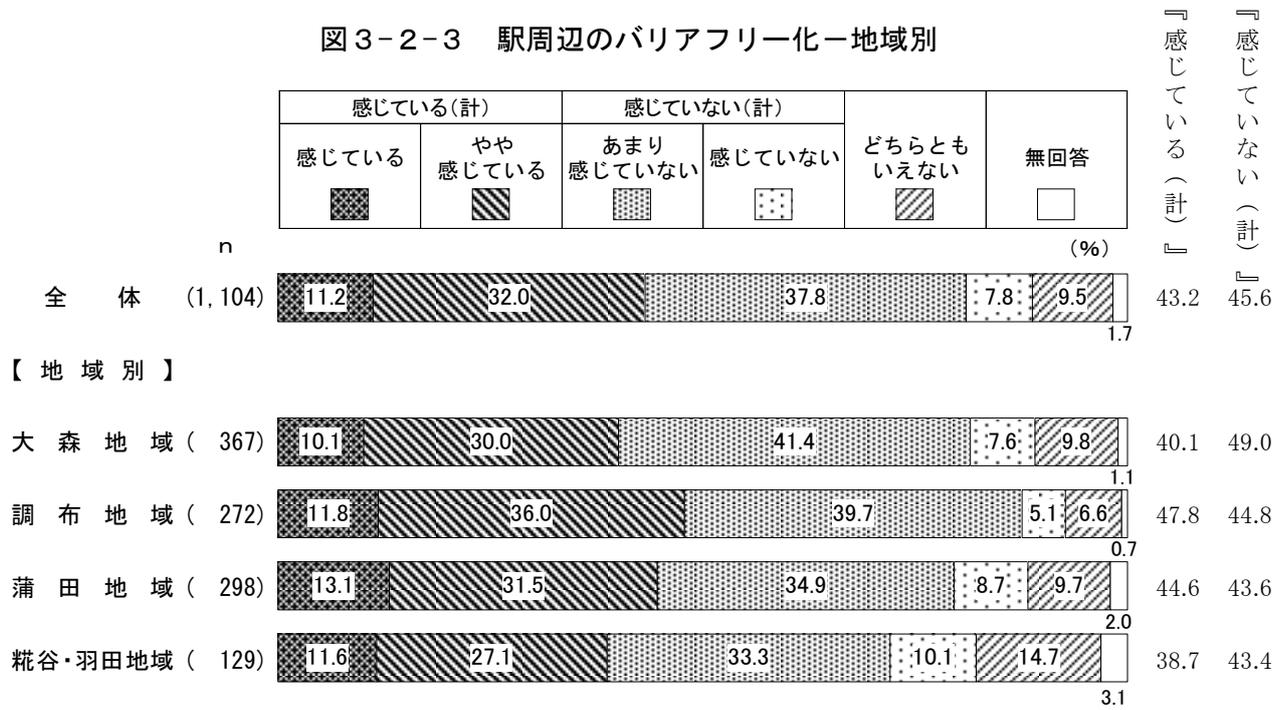
図 3-2-2 駅周辺のバリアフリー化—性／年代別



性別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

性／年代別でみると、『感じている(計)』は女性70歳以上(51.3%)で5割を超え、男性30代(50.7%)で約5割と高くなっている。一方、『感じていない(計)』は男性50代(54.3%)で5割半ばと高くなっている。(図3-2-2)

図 3-2-3 駅周辺のバリアフリー化—地域別



地域別でみると、『感じている(計)』は調布地域(47.8%)で5割近くと高くなっている。一方、『感じていない(計)』は大森地域(49.0%)で約5割と高くなっている。(図3-2-3)